

説明会の質問に対する回答(2025.9.21開催:みのかも文化の森)

※この内容は、質疑応答の内容を市民の皆様と共有するためにまとめたものであり、質疑応答の時間に参加者からいただいた質問を抜粋しています。参加者のご意見については省略していますのでご理解をお願いします。

なお、回答につきましては、説明会で回答した内容をAI(ChatGPT)を活用して要約したものです。詳細を確認したい場合は、新庁舎整備情報ポータルサイト「みんなの新庁舎」又は市ホームページに掲載してありますYouTube配信の映像をご覧ください。

※駅南再開発…美濃太田駅南地区市街地再開発事業のことです。

通番	カテゴリ	質問	回答
1	財政	体育館の国の補助金(交付金)が交付されなかったときはどうするのか。	交付金は国の予算ですが、必ず満額交付される保証はありません。条件を満たして申請し、最大限の額を取得するよう努力する方針です。場所を決め計画を具体化し国や県との協議を進め、まずは国の補助金、社会資本整備総合交付金を取りに行きたいと考えております。交付金が十分に得られない場合でも、市民生活へ影響が無いよう計画を見直すなど、柔軟な対応をしていきたいと考えております。
2	財政	現在の市債が290億円あるが、今回の事業を行った場合に具体的にいくらになるのか。	現在の市債残高290億円のうち、ちょうど半分が一般会計となっています。ここに、体育館で約20億円、新庁舎で約50億円のプラスが予定されています。 ※説明会では新庁舎で約60億円と回答しましたが、約50億円となります。
3	財政	市債の想定の中に駅南再開発の17億5000万円は含まれていないのか。	駅南再開発については、長期的なプロジェクトであり、1年間で全額を使うものではありません。美濃加茂市では小中学校の空調設備や公共施設のLED化にそれぞれ10億円以上の予算が必要となりますが、これらも駅南再開発と合わせて実質公債費比率や将来負担比率を算出しています。それらの借金を把握した上で計画を進めています。 ※17億5000万円は含まれています。
4	財政	市議会では220億の借金が必要だというように言っているが、今おっしゃったのは70億円であり金額が違うが、なぜか。	現在、市の借金総額は約290億円であり、そのうち一般会計の借金が約150億円あります。この一般会計にさらに70億円が加わり、計220億円となります。一方、特別会計(上下水道など)の借金が約150億円あり、これらを合計すると全体の借金は約370億円となります。
5	防災	駅南の候補地が水がつくからダメなのであれば、なぜプラザちゅうたいは良いのか。	前の計画(駅南の候補地)は、水害のリスクのみではなく、他にも駐車場の狭さなど、様々な意見が寄せられました。そのため、これらを考慮して計画を一度白紙に戻し、再検討を行いました。新たな案では、水害時にも災害対策機能を維持できることを大前提に進めています。その上で、寄せられた意見を受け止めつつ、全体の要件を踏まえて場所を決定しました。
6	交通状況	今市役所に来る時、交通に不便を感じている。畜産研究所であれば安全に市役所に行くことができるのではないのか。	前平は50,000㎡の広大な土地を確保できる魅力的な候補地ですが、造成費が28億円と予算額が大きく、市役所を建てる場合は造成費も含めてほぼ全て市民の皆様の負担となります。その結果、建物と造成費を合わせると110億円を超えると想定されています。さらに、周辺の道路や水道の整備も必要で、これらにも多額の予算がかかります。一方、これからの市役所は市民の皆様が直接訪れなくても生活を支えられる機能を持つべき時代になっており、こういった要素を踏まえてプラザちゅうたい案を選択しました。 また、候補地の比較や予算の詳細について市民の皆様が理解できるよう、以前作成したかわらばんvol.5には4候補地の情報をまとめています。
7	整備地	プラザちゅうたい案は否決されたのだから、民主主義からいえば他の候補地にすべきではないのか。	否決の理由には議員の皆様への説明不足や理解の不十分さがあると認識しており、全てを否定されたわけではないと理解しています。今回の採決では議員の半分(8名)が賛成しており、その賛成意見を重視しながら残りの反対された理由を解決する必要があると考えています。 また、市民の皆様の意向をより明確にするため、住民投票とは異なる意向調査としての市民アンケートを実施する予定です。その結果を踏まえ、市民の皆様の考えを把握した上で市議会と協議を進めたいと考えています。
8	アンケート	アンケート集計はどこがやるのか。	市民アンケートの集計は市職員や市長ではなく第三者であるコンサルタントが行う予定で、公平性を重視して実施します。また、アンケート対象人数はこれまでの4000名から無作為に選んだ8000名に拡大し、精度を高めることで、市民の皆様の意向をより正確に把握することを目指しています。市民の皆様の負担を伴いますが、多くの意見を伺うための重要な取り組みとして進めています。

通番	カテゴリ	質問	回答
9	アンケート	市は信用できないので、コンサルタントだけではなく、市議会議員もアンケート集計で確認で入ってはどうか。	信頼される行政を目指し、集計結果は速やかに公表します。データは廃棄せず、透明性を確保しておりますのでご安心ください。
10	アンケート	アンケートは見ようと思えば見させてもらえるのか。	アンケート結果は適切に集計し、皆様に公表いたします。その過程は透明性を重視し、信頼をいただけるよう努めてまいります。情報公開を求められれば、条例を遵守し対応します。
11	庁舎整備	健康課や土木課など、今分散している課は全て集約されるのか。	本館、西館と分庁舎は一体化し、交流センターについては市民の皆様近くで課題解決ができるよう機能を強化したいと考えています。今後の議論を通じて体育館のスポーツ振興課や生涯学習センターの環境課、教育委員会など、まだ分散している機能の集約を進めたいと考えています。まずは西館、分庁舎の一体化を確実に進めるということをお伝えします。
12	住民投票	住民投票で民意を反映してほしい。	市民アンケートの準備を進めており、さらに今後の設計に向けてワークショップや市民の皆様との協議の時間をしっかり確保していきたいと考えています。また、これらの過程で無駄な予算がかからないよう努めますので、その点についてご理解をいただきたいと思えます。
13	説明会	今日市議会議員の方もみえているが、この説明会の趣旨は何か。何のためにやったのか。	市の具体的な取り組みについては、まず予算や条例を議会で可決していただいた後、市民の皆様説明するのが通例でした。しかし、今回に関しては議場に諮る前に市民の皆様説明し、納得していただく機会が必要だと認識しました。ただ、すべての事業でこのような形をとることは難しいのが現状です。しかし、重要な意思決定や合意形成が必要な場合にはこのプロセスが必要だということを反省しつつ受け止めております。議会の皆様に対しては、市の執行部が開催しているこの場ではなく、個別にご対応いただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。
14	アンケート	8000人アンケートに関しては、子育て世代、小中学生、高校生、外国人など、様々な意見を得た方がいいのではないのか。あくまで無作為で行うのか。	これまでのアンケートは無作為抽出により人口動態に基づく偏りのない結果を得ています。対象を4000人から8000人に増やした理由は、統計誤差を1%下げることと精度を向上させるためです。また、住民投票との違いとして、アンケートでは世代別の詳細な回答結果が記録される点があります。アンケートは専門的な手法で運用され、正確性が担保されています。
15	図書館	図書館政策は今後どうしていくのか。	市の図書館は中央と東の2つが大きな拠点となっており、今後のバランスを検討する必要があります。市公共施設等総合管理計画では統合が示唆されていますが、図書館の機能や可能性には大きな期待があり、図書コーナー設置だけでは不十分との意見も踏まえ、今後、法律で定められた協議会で議論を進め、オープンな場で検討を深めていく方針です。
16	市議会	決め方の「市議会と相談の上で」というのは、どんな相談をされたのか。	当初のロードマップでは、令和6年度中に市議会との協議を通じて「パターン3 市議会と相談」で決定する方針でした。市民アンケートや住民投票には予算と労力がかかるため、市民の皆様の代表である市議会議員と協議しながら進めることを基本としていました。議会の要望により、市長として最適位置を示す必要があると判断し、「プラザちゅうたい案」を上程しましたが、議会で否決されたことで進行が止まっています。今回、市民説明会を通じて執行部案への理解を促し、市民アンケートの結果を基に再度市議会と協議を進めるという流れとなっています。
17	アンケート	整備地の決め方に関して、「パターン1 住民投票」、「パターン2 市民アンケート」、「パターン3 市議会と相談」について市民アンケートを取ってほしい。	8000人アンケートを実施する方針を決定しています。内容は市長としての提案に対する賛否を尋ねる形式とします。反対と回答した場合には、候補地として自身が良いと考える案についても併せて意見を収集する方法で進めているのでご理解いただきたいと思えます。
18	整備地	現庁舎敷地に作るのが本来だと思うがなぜちゅうたいにしたのか、一言で答えてほしい。	敷地を十分に確保できる点を重視し、プラザちゅうたい案を決定しました。
19	アンケート	議会が反対した場合には市長が腹くくってやるつもりがあるのか。	アンケート調査を通じて多くの市民の皆様賛同を得た上でその結果を議会に提出し、議会での再協議は必須であると考えています。現時点で提案内容に対して決意を固めています。
20	アンケート	アンケートで賛成が何パーセントを超えてきたらプラザちゅうたい案がいいと考えるか。	半分以上の人にご理解してもらいたいと考えています。
21	整備地	そもそも候補地の決定が遅れている原因は何か。	市議会の議決が否決された原因として、自身の説明責任を十分に果たせず、市議会からの賛同を得られなかったことに責任を感じています。

通番	カテゴリ	質問	回答
22	その他	これは市政の停滞ではないか。責任はどこにあるのか。	ロードマップから半年以上遅れたことで市政が停滞しており、その遅れが建設費の高騰などの問題に直結しています。
23	その他	この遅れが市民生活に影響が出ていないか。	計画の遅れにより、この説明会についても職員の労力や市民の皆様の時間が余計にかかり、本来は次のステップに進むべきところで停滞しています。この状況は市民の皆様に影響を与えています。
24	市議会	行政の停滞の原因は、議会の審議能力の不全ではないか。	議会への説明責任は市長の仕事であり、今のご意見を真摯に受け止めつつ、議会の意思決定が得られるよう説明責任を果たしていきたいと考えています。
25	体育館	プラザちゅうたいという公の施設の移転の説明がこれまで不十分だったのではないか。	体育館の移設については候補地の一つとして前平公園があり、その段階では具体的な協議には入れない状況にあります。新庁舎の場所が決定した後、速やかに協議に入る予定であり、公共用財産と市役所のような公用財産の違いを重く受け止めながら、市民の意見を聞いていく考えです。
26	財政	将来負担比率の他市町村との比較が出なかったのは、何か都合が悪いのか。	実質公債費比率については問題はなく、他市町村との比較を示しました。将来負担比率もおおむね同様の順位になると考えています。
27	防災	防災対応は本当に大丈夫なのか。	新丸山ダムについての情報は紙面に多く割いていますが、災害対策の紹介には説明会資料だけでは十分ではないと感じています。災害対応は多重的なハード整備、避難対策や体制整備などのソフト面で対応していくことを理解してほしいと思います。

説明会の質問に対する回答(2025.9.26開催:生涯学習センター)

通番	カテゴリ	質問	回答
1	庁舎整備	そもそもなぜ建て替えるのかという大前提をお聞きしたい。	現庁舎リフォームの可能性を調査し、概算では24億円程度で実現可能との結果が出ました。しかし、日本のコンクリート建造物の寿命が約80年であるため、現庁舎は残り20年ほど利用可能ですが、その後は建替えが必要になります。また、熊本地震の教訓から耐震性や長期的な安全性を考慮し、新庁舎への建替えが財政的にも現実的と判断しました。コンパクトシティの観点も踏まえ、施設の分散を防ぎながら、市民の皆様と議論を重ね、効率的な計画を目指していきます。
2	財政	体育館について、国の補助金(交付金)の見込みはどうか。	社会資本整備総合交付金については多くの自治体が活用を希望しており、競争がある中で、市として方針を定め国と交渉することで予算を獲得してきた実績があります。例えば牧野ふれあい広場では、交付金を活用し、10億円規模の施設に対する交付金を国から満額確保したという経緯がありました。今回の体育館についても、現在のルールに基づき、市が計画を立て申請を行い、国が施設の必要性を認めた場合に予算が付けられる仕組みです。交付金申請の際には、国との交渉や計画の調整が必要ですが、2分の1の交付金を活用する方針のもと、進めていく点をご理解いただきたいと思います。交付金は申請すれば確定するものではありませんが、ルールに基づき市民の皆様の必要性を国に伝えながら、獲得に努めていきます。
3	整備地	地方自治法の趣旨はやたらに庁舎の住所を変える必要はないということだと理解しているが、安い現庁舎がダメでプラザちゅうたい案がいいと移設を考えなければいけない理由は何か。	現庁舎の敷地は現状ギリギリの広さであり、将来の社会の状況を見据えると一定のスペースを確保しておくことが重要だと考えています。また、50年後や60年後に検討すると思われる庁舎建て替え時に敷地内で対応できる余裕を持つことは、行政サービスや災害対応、さらには市民イベントなどにおいてメリットがあります。このため、敷地をしっかりと確保する方針を決定しました。
4	財政	小中学校の建て替えや道路など、直さなければいけないものはたくさんある。住民サービスが削られたりするのではないか。	庁舎建設にあたり、市民サービスの低下があってはならないのが大前提です。将来負担比率や実質公債費比率の算出には、公共施設のLED化や小中学校の空調設備などの10億円以上の事業を含めており、これらへの対応をしっかりと進めつつ、予算を抑える工夫をしなければなりません。また、物価上昇により建設費が日々増加している現状を踏まえ、後世への負担を軽減するためにも、可能な限り早期に進めることが重要だと考えています。
5	庁舎整備	職員の車の駐車台数を知りたい。	現在の庁舎では敷地や周辺の市有地が少なく、職員や公用車の駐車場が不足しており、職員の車約320台や公用車分として年間約1,600万円の借地料を支払いながら外部の敷地を借りています。新庁舎で十分な駐車場を確保することで、これらの費用を削減できるというメリットがあります。
6	防災	加茂川は木曽川が満杯になってしまった場合排水できない。非常時のことをどう考えているのか。	加茂川については、1000年に1度の雨の場合、プラザちゅうたい敷地では約60センチ程度の浸水になるとされています。頻繁に向き合う川として、こうしたデータを基に対応を進めています。 ※加茂川での想定最大規模降雨は1000年に1回程度(1年の間に発生する確率が1/1000程度)を想定。計画規模降雨は30年に1回程度(1年の間に発生する確率が1/30程度)を想定。
7	防災	大雨の中で高齢者の方が避難をするときに、具体的な避難方法があれば教えてほしい。	体育館が移転すると距離的に少し遠くなることが懸念されます。しかしながら、生涯学習センターは現在も避難所として機能しており、大雨などの際には開放されています。将来的には、災害の推移や状況を見ながら避難誘導を調整していきます。また、要支援者に対しては福祉関係の方々がしっかりと連絡を取る体制を整えています。
8	市議会	議員さん方に対し、条例をもう少し前に進める方法を考えられたらどうかということをお聞きしたい。	本日の説明会は執行部の説明の場ですので、議員の答弁は控えていただきます。議決が得られていない現状は私自身の説明不足も要因と認識し、丁寧な説明を心掛けています。また、庁舎の環境改善が職員のモチベーション向上につながり、市民サービスの質を高めると考えており、早期改善を目指します。
9	アンケート	なぜ市民アンケートなしで議会と市だけで決めようとしたのか。	市民アンケートや住民投票は当初必要だと考えていましたが、時間や予算の負担が大きいため、議会との協議で実施しない方針を決めました。しかし、年度末の結果を受けて、住民説明を議決前に行わなかった点について反省しています。今後は議決前の段階でも、市民の皆様への説明と理解を得る努力を進める必要があると考えています。

通番	カテゴリ	質問	回答
10	市議会	市民の代表である議会が否決したので、プラザちゅうたい敷地に建設する案は適切ではないということが決まったのではないか。	議員の中には「市民への説明が足りない」という意見もありました。また、議会では3分の2の賛成が必要でしたが、提案には議員の半数(8名)の賛成が得られています。否決されたからといって案が全て取りやめになるわけではなく、今後どのように案をご理解いただけるかを検討していきます。
11	財政	同じような時期に新庁舎と駅南再開発の補助金が必要になる。市の財政負担が大きくなるのではないか。	将来負担比率等の財政状況を踏まえ、借金を増やしすぎないように注意しつつ、環境整備を進める必要があると考えています。いただいたご意見を真摯に受け止め、慎重に進めてまいります。
12	体育館	部活動の地域移行化が進む中で、体育館や弓道場が2年使えなくなると聞いたが、流れに逆行しているのではないか。	体育館の建て替えに関するご意見は非常に重要で、これまでも多くの団体から同様の声をいただいています。ただ、現在のところ計画は複合的な課題を伴い、具体的な工期や順序は明確に決まっていません。体育館が後回しになる場合、休館期間が約5年に及ぶ可能性があり、その影響を最小限に抑える方法を研究しています。特に子どもたちや運動をする方々への負担を避けるため、近隣の施設(特別支援学校、市内大学など)の活用を含め、活動が途切れないよう努めます。弓道場のような特殊な施設についても検討が必要です。今後もご意見をしっかり受け止め、最適な方針を模索してまいります。
13	庁舎整備	昔は美濃加茂市の人口は少なかったが、今は外国籍の方も増え、庁舎が手狭になっており、駐車場に止められないこともある。早急に話を進めるよう議員さんをお願いしたい。	現状、新庁舎の検討は市民サービス向上の観点から重要と考えています。特に1階部分では、外国籍の方の対応等で混雑する時間帯があり、マイナンバーカードの利用拡大で緩和されつつも課題が残っています。新庁舎の整備により、より良いサービス提供を目指したいと強く願っています。
14	整備地	駅南の候補地が4候補地に含まれなかったのはなぜか。	駅南候補地が外れた理由は、市民4,000人アンケートで上位に入らなかったためです。その結果、可能性調査の対象外となり、現在の候補地案に至っています。
15	その他	牧野ふれあい広場で出た補助金の額が知りたい。	総事業費は14億円で、そのうち補助金の対象事業費は12億円です。この12億円の半額にあたる6億円が補助金として交付されました。
16	その他	大変な時間をかけ、このような計画を立てて新庁舎を作るという思いに至った市長の思いを改めて聞いてみたい。合わせて、今後明るい未来の美濃加茂市というビジョンもあれば、市長に考え方を聞いてみたい。	美濃加茂市では、2035年までに人口を現在の5万7500人から6万人に増やすという全国的にも珍しい人口増加を目指しています。その中心となるのが教育であり、環境整備に力を入れています。今日の庁舎のテーマを含め、多くの政策や課題がありますが、それらを行政や政治家だけで解決するのは難しいため、関心を持ちご意見をいただける市民の皆様に感謝しています。地域の皆様がリーダーとして活動し、街をより良くしていくことを期待し、市のビジョンとして今後も進めていきたいと思っています。
17	説明会	この説明会を各地域でやることはできないか。	住民説明会については、3回実施し、オンラインを含めできるだけ多くの方が参加しやすい形を取っています。その後、市民アンケートを実施し、市民の皆様のご意見を精度高く把握したうえで、議会と協議したいと考えています。また、とびだせ市長室などの機会を通じて住民の意見を直接聞くことも行っていますので、意見交換の場として活用していただければと思います。また、市議会議員の皆さんに市民の皆様のご意見を聞いてもらう機会もぜひ作っていただきたいと思います。
18	整備地	プラザちゅうたい敷地を新庁舎の整備地にする場合、借地はあるのか。	借地はありません。
19	整備地	12ページで建物と駐車場になっている部分は全部市の土地か。借地はないか。	プラザちゅうたい敷地で行う場合、借地はありません。
20	体育館	前平プール跡地は借地である。なぜ借地をするのか。	新体育館整備については、これから議論を進めていく段階であり、現在は資金計画の一案を提示している状況です。前平プール利用時から借地となっている点も含め、今後詳細を検討していきます。引き続き情報提供を行いますので、よろしくお願いいたします。

説明会の質問に対する回答(2025.9.27開催:加茂野交流センター)

通番	カテゴリ	質問	回答
1	市議会	12月に条例案が否決された場合はどうするのか。	まず整備地の決定が必要で、議会の議決を目指しています。物価の上昇が建設費に影響していることも踏まえ、早期の結論を出したいと考えています。10月にアンケートを実施し、その結果をもとに議員と協議し、12月の議会で議決を目指します。否決された場合については現在想定しておらず、議会の理解を得ることを前提に進めています。
2	アンケート	市民アンケートは何を目的にしているのか。	市民アンケートを実施する理由は、住民理解が十分進んでいないとの意見を受け、市民の皆様の意向を確認するためです。このアンケートを通じて執行部案に対する市民の皆様のご意見を精度高く把握し、それを基に議会に諮り、必要な特別議決を得ることを目指します。最終的な決定権は議会にあるため、その材料として活用する意図があります。ご理解いただければ幸いです。
3	整備地	新庁舎がプラザちゅうたい敷地に建った場合、市の南側の方が発展し、北側の方がなおざりになるのではないか。	美濃加茂市の発展については、全国的な人口減少の中で、地方創生関係の計画を通じて人口増を目指しており、現在の約5万7,500人から10年で6万人への増加を計画しています。駅北側の山手線エリアや加茂野、下米田、蜂屋といった地域では人口が増加しており、学校や福祉施設、地域コミュニティの充実を含め、住民サービスの向上が重要です。 美濃太田駅については、高山線、太多線、長良川鉄道が交わる市の重要な交通拠点であり、駅の北側・南側の土地利用を含めて発展を検討していきます。 新庁舎に関しては、インターネットや地域施設を活用した市役所サービスが拡大する中で、庁舎を中心としたまちづくりの発展は期待するものではなく、市民の皆様の利便性向上を優先する時代になっていくと考えています。 市役所は公用財産であり、従来のようなまちづくりの中心にはならないと考えています。一方で、体育館や交流センターといった市民の皆様が利用する公共用財産こそ、住民サービスを軸にまちづくりの中心として活用していくべきです。例えば、体育館内にコンビニやレストラン、市民の皆様の憩いの場を設けるなど、民間の力を活用した全国的な事例を参考に、地域活性化を目指します。
4	整備地	将来もし近隣市町村と合併するとしたら、前平がよいのではないか。	合併の可能性について具体的にはお答えしにくいですが、人口規模の小さな自治体がすべての課題に対応するのは困難な時代になっています。そのため、加茂郡の町村と協力し進めることが重要です。今回のプラザちゅうたい案では、広い敷地を確保し、社会情勢や自治体の規模変化に柔軟に対応できるようにしています。これまでの庁舎運営では西館や分庁舎など複数の庁舎が点在していた問題があり、将来的な変化を見据えて効率的で自由度の高い体制を目指して、プラザちゅうたい敷地で進めていきたいと考えています。
5	整備地	かわらばんvol.5の比較評価表の重みづけがされていない点についてどう考えているのか。	この比較表につきましては、多くのご意見を頂戴しておりますが、評価の基準に関しては、あくまで市が決めた一定の基準として設定したものです。項目ごとの「比重の重み」を個別に設定していないため、その点をご理解いただければと思います。
6	市議会	プラザちゅうたい敷地の整備地に対して反対6名、退席2名の方の理由は何か。	議会の件については本日は市長説明の場ですので、詳細は議員の方に直接お尋ねください。ご了承お願いいたします。
7	整備地	プラザちゅうたい案は、コンセプトと整合性がないのではないか。	かわらばんvol.6のコンセプトについては「わかりにくい」とのご指摘を受けましたが、役割・コンセプトをこれまでのかわらばんvol.3に記載しており、今回の内容はタウンミーティングでの意見に基づく実現可能性を記したものです。
8	市議会	以前反対された議員さん6名と退席された2名、この方の理解を得られるのか。	議会の議決は市民の皆様代表である議員の重要な権限です。我々としては市民の皆様の理解を広げ、賛成を得られるよう努めてまいります。議員の立場や意見は個人ごとに発信されていますが、執行部としては議決を目指し、説明を重ねていく姿勢に変わりはありません。

通番	カテゴリ	質問	回答
9	その他	9月6日の中日新聞県版で、江崎知事が委託事業で出さずとも半分以上の費用でスピード感を持ってやれることが多くあると書かれていたが、コンサルタントに頼むことをどう考えているか。	過去にはコンサルタントに丸投げする時代も全国的にありましたが、美濃加茂市では何でも任せることはしていません。職員数が限られる中で、専門性が必要な部分については効率性や客観性を担保するためにコンサルタントに委託しています。一方で、職員の考えや市民の皆様の声を反映させることを重視し、使い分けを工夫しながら進めています。また、大きな事業では市民の理解と声を取り入れることに配慮しつつ、適切な対応をしていきたいと考えています。
10	アンケート	アンケートの予算はコンサルタントに委託する費用を含めていくらか。	アンケートについては、対象人数8000人、予算約600万円を計上しております。このアンケートを通じて市民の皆様の声を精度高く収集したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
11	整備地	駅南再開発と新庁舎は関係があるのか。	新庁舎は関係ありません。
12	アンケート	アンケートは誘導がないように行っているだけですか。	今回のアンケートは市の執行部案への賛否を確認し、反対意見を具体的に収集する形で実施します。趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。
13	アンケート	市民アンケートの集計は市の方でやるのか。	アンケートはコンサルタント会社に委託し、公平性を担保して実施します。内容の信頼性について懸念がありましたが、情報開示が必要な場合も対応可能ですので、公平・公正に行われることをご理解ください。
14	アンケート	コンサルタントにお願いすると費用がいくらかかるのか。	封書の送付や集計などを含めて、アンケートの費用は600万円となります。
15	アンケート	コンサルタントだけだといくらかかるのか。	アンケート業務のうちコンサルタントへの委託料は、396万円です。※コンサルタントへの委託業務の内容は、調査票の設計、調査票の印刷・封入・封緘、集計、結果のとりまとめです。
16	アンケート	金のかからない方法でやっていただきたい。コンサルタントに頼まず市の職員が残業してやれば、そんなにはかからないと思う。	できるだけ費用を抑える努力はしておりますが、仕事には必然的に経費が発生します。公平性や専門性を担保しながら進めておりますので、その点をご理解いただければと思います。